

里海づくりセミナー

～ 加速する地球温暖化へのアクション！ 藻場の創造とブルーカーボン ～

プログラム

13:00

開会挨拶

福井 智之

環境省中国四国地方環境事務所 四国事務所長

13:05

第1部
講演



気候変動による瀬戸内海の藻場の現状と今後の課題

国立研究開発法人 水産研究・教育機構水産技術研究所 主任研究員

島袋 寛盛 氏

鹿児島大学大学院終了後、大学やNPO法人での研究員を経て、国立研究開発法人水産研究・教育機構で藻場の保全や機能評価、生態系モニタリング、藻類養殖まで海藻や藻場に関わるあらゆる研究に従事。藻場の衰退と水温上昇との因果関係を明らかにするとともに、瀬戸内海を中心に全国の海で、ブルーカーボンやネイチャーポジティブ、気候変動が藻場生態系に与える影響等について研究。

13:50

第2部
事例発表



藻場と地域の創造：

人が変わり・地域が変わり・未来を創る“地域共創トランジション教育”

一般社団法人 地方創生機構 代表理事

中岡 恵司 氏

2007年に東京都から愛媛県に移住。里海づくりや海洋教育、地場産品の振興など、江戸っ子気質で地域づくりを牽引する社会活動家。ダイビング指導歴40年。現場での実践に強みを持ち、環境・教育・経済・観光・海洋・文化など多分野を横断統合し、“教育による社会変革”をモットーに地域の繋がりをデザインする地域共創型のトランジション教育を推進。



愛南町のブルーカーボンプロジェクト

一般社団法人Umidas 事務局

清水 陽介 氏

2009年、愛媛県愛南町に入庁。水産課において、磯焼け対策で駆除されるガンガゼウニをブロックリーを餌にして養殖し、「ウニコリリー」としてブランド化。Jブルークレジット®の認証は、四国では第1号、貝類養殖いかだでは全国初。海や漁村などの魅力を活用した地域活性化策「海業」を官民で推進する一般社団法人Umidasに2025年から派遣となり、ぎょよく教育、ガイド人材育成、観光業、農林水産業の発展に邁進。

14:45

第3部
講演



ブルーカーボンの国内外の動向と将来展望

ジャパンブルーエコノミー技術研究組合 理事長

桑江 朝比呂 氏

京都大学大学院修士後、国土交通省所管の港湾空港技術研究所で沿岸生態系や環境工学、気候変動への対応などを中心に研究。現職は沿岸環境研究領域長。海洋CO₂の吸収源としてブルーカーボンに着目し、2020年にジャパンブルーエコノミー技術研究組合を設立(理事長兼任)し、新たなカーボンクレジットとしての「Jブルークレジット®」制度を創設。2024年から東北大学大学院生命科学研究所客員教授兼任。

15:30
16:00

交流タイム

参加者同士でグループを作り、学びやそれぞれの活動のディスカッションを行います

申込期限 令和7年12月10日(水)17時まで

お申し込みフォーム

<https://forms.gle/rgz7Z64sAJcxHLBUA>

上記URLまたはQRコードを読み込んでお申し込みください。



お問い合わせ



運営事務局

(株式会社あいテレビ)

089-921-2121

※平日9:00~17:30



※JR松山駅からは、伊予鉄環状線JR松山駅前駅で乗車して西堀畑駅下車、徒歩5分
※お車でお越しの方は、会場の駐車場に限りがあるため、満車の場合は近隣の有料コインパーキング等をご利用ください。